

No.
151

平成26年10月15日発行
長崎県長与町議会

9月定例会

- ◎税金の使い道をチェック…………… 2
- ◎ごみ袋が大中小に…………… 7
- ◎13人が問う一般質問…………… 8～21
- ◎議会報告会のお知らせ…………… 24

ながよ 町議会

NAGAYO TOWN
ASSEMBLY
NEWSLETTER

だより



町民の方からの提供写真(昭和62年2月)



変わりゆく道と街(長与駅前橋を望む)



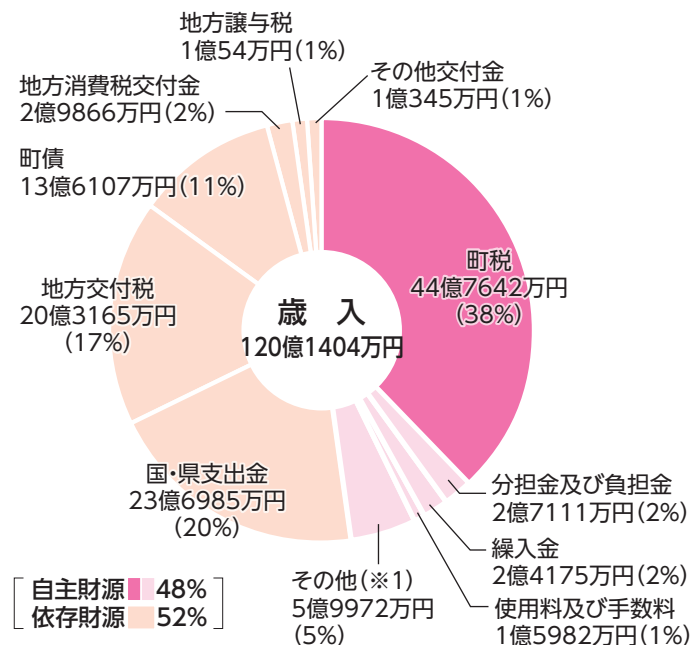
税金の使い道をチェックしました

認定

平成25年度長与町一般会計決算

賛成16：反対2

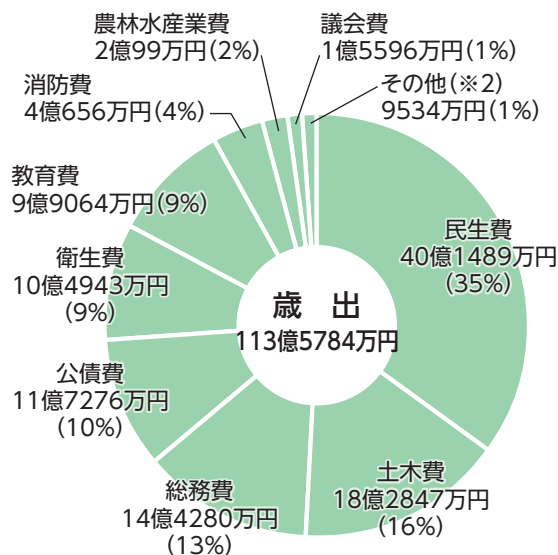
26年第3回定例会を9月3日から22日まで開き、25年度の一般会計・特別会計及び企業会計の決算など、議案20件、慎重に審議し全議案可決しました。また請願4件を採択し意見書3件を可決しました。



※1その他の内訳

- 財産収入 (2477万円)
- 寄附金 (27万円)
- 繰越金 (4億4765万円)
- 諸収入 (1億2703万円)

※金額は、1万円未満を端数処理しています。



※2その他の内訳

- 商工費 (6075万円)
- 労働費 (3249万円)
- 災害復旧費 (201万円)
- 諸支出金 (9万円)

賛成討論

・町税の滞納の原因は、生活の貧困や企業の倒産や行方不明など、やむを得ない個々の生活状況に合わせ慎重に配慮すべきである。民生費は住民の安定した社会生活のため、更なる充実を図ることが重要である。

長与駅のエレベーター設置、多目的トイレ、ICT見守り事業は評価できる。住宅リフォーム助成補助金は15倍の経済効果があり、継続を望む。(安部)

・町税などの未納額が24年度に比べ大幅減となっており、重複滞納者、悪質滞納者への取り組みなど収納対策の成果が現れている。しかし町税や町営住宅使用料など依然多額であり、なお一層努力されるよう要望する。

また不用額が4億円余りあり、年度途中で発生した不用額については、決算まで持ち越すことなく処理をし、新たな町民要望に振り向けるなどの努力を要請する。

ホームページのリニューアル、町の旬な情報やお知らせなど週1回のFM長崎の放送、データセンターサービス利用で安全で低コストの電算システム構築、長崎がんばらんば国体リハーサル大会、予防接種事業ほか子育て世代の応援事業充実など評価できる。(賛成)

反対討論

・住民の命と健康に直結する民生費、各施設の老朽対策は必要である。そうした中、都市計画道路路西高田線と高田南土地区画整理事業特別会計への一般繰出金は他の施策の予算確保、今後の財政負担の面から問題が大きい。

高田南土地区画整理事業も工期延長の可能性もあり土木費の国からの補助は、町が要望する補助額が確保できる保障はない。

幸福度日本一の町づくりのためにはこれらの事業を見直すことが不可欠である。

保育料の引き下げ、住宅リフォーム助成制度は高く評価できる。効果が明らかな施策は継続すべきである。(堤)

総務費(1)
14億4280万円

長与駅バリアフリー化設備整備費補助金 2150万円
地域情報発信事業委託 (FM長崎) 1184万円



総務費(2)

長崎国体長与町実行委員会補助金 7641万円
姉妹都市(ウェザーズフィールド)訪問 181万円



民生費
40億1489万円

国民健康保険特別会計
繰出金 1億4857万円
児童手当 7億7855万円



衛生費
10億4943万円

予防接種事業 1億284万円
ごみ処理委託料 2億792万円



農林水産業費
2億99万円

有害鳥獣対策 560万円
生産性の向上とブランド化促進 483万円



商工費
6075万円

住宅リフォーム助成金 956万円
長与川まつり補助金 400万円



土木費
18億2847万円

都市計画道路西高田線街路整備事業 2億7933万円
多目的広場整備事業(仮) 2億636万円



消防費
4億656万円

広域消防事業負担金 3億2957万円
消防団第5分団用地購入費 2025万円



教育費
9億9064万円

長与小学校旧校舎解体事業 6981万円
図書館の整備と活用促進 709万円





NAGAYO Sea Side Street (長与シーサイドストリート)

**全会一致
可決**

新しい図書館の基本構想策定・長与 シーサイドマルシェ補助金などを予算化

26年度一般会計に1億621万円を追加補正し、総額は12.5億3747万円になりました。主な事業は以下のとおりです。

**新図書館基本構想策定
委員報酬 67万6千円**

新しい図書館の基本構想を作るための委員会を立ち上げ。

委員の構成は、図書館整備計画検討委員会から数名、教育委員、学校、PTA、学識経験者など、12人以内を予定。

委員会は8回程度を予定し、27年3月までに答申。

**長与シーサイドマルシェ
補助金 89万円**

国道207号を中心とした風光明媚な通り「長与



大盛況だったシーサイドマルシェ

シーサイドストリート」に広がる景色とこだわりのお店を知ってもらい、手作りマルシェ(市場)の出店を実行委員会で開催。50店舗の出店、1万人の来客を目標。



保育士の増員で行き届いた保育を

保育専門員報酬

184万3千円

町立高田保育所の入所児童数の増加と延長保育の実施に伴い、保育士(保育専門員)を1人増やす。

**電算システム運用開発
委託料**

2894万7千円

マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)への移行準備にともなう電算システムの改修。

道路橋りょう費

3005万円

町内各道路や橋の維持補修の費用。

点検業務等委託料(中学校費)

295万2千円

地震による落下物や転倒物から生徒を守る目的で、町内3つの中学校の天井、照明、設備などの点検業務を委託。

32年度まで事業計画を延長予定



25年度高田南土地区画整理事業の決算 **本年度までの事業進捗率は88.5%**

賛成16：反対2

賛成討論	反対討論
<p>厳しい財政状況の中、限られた財源を最大限活用し、長与町のまちづくりに寄与している。 (金子)</p>	<p>国の補助、町の財政の動向次第では、さらに変更・延長される可能性がある。事業への批判・不満が増幅する。 (堤)</p>

歳入 8億7322万円
歳出 8億6852万円

主な質疑	答
完成年度（29年度末）の見直しはしたのか。	32年度の事業延長計画を国に申請中である。補助金の付き方が厳しいが、32年度には完了したい。
償還金の支払いはどうするのか。	保留地処分金で償還する予定である。

25年度水道事業・下水道事業の決算



事業種別	項目	収入	支出	差引	説明
水道事業	収益的収支 (税込)	6億9570万円	5億3737万円	1億5833万円	○建設改良費4億8073万円で、高田地区(元木)、嬉里・斉藤、都市計画道路西高田線配水管布設工事。榎の鼻土地区画整理事業施工に伴う水道施設に係る新設工事が行われた。
	資本的収支 (税込)	4億7251万円	6億1199万円	△1億3948万円	○漏水に伴う修繕が、25年度は83件あった。短期的には横ばいで推移していく見込み。管の耐震化を進めているが、今後、漏水探査業務と耐震化の効果が発揮されるものと考えている。
下水道事業	収益的収支 (税込)	8億8043万円	6億3713万円	2億4330万円	○1㎡当たりの使用料単価は173.48円。それに対し、汚水処理原価は年間有収水量に対する汚水処理費の割合で1㎡当たり175.02円となっており、1.54円の原因割れとなっている。
	資本的収支 (税込)	6176万円	4億2566万円	△3億6390万円	○マンホール蓋改築はニュータウンが残り40件。青葉台団地140カ所について、事業開始の許可をもらえるよう国と協議している。



町道認定



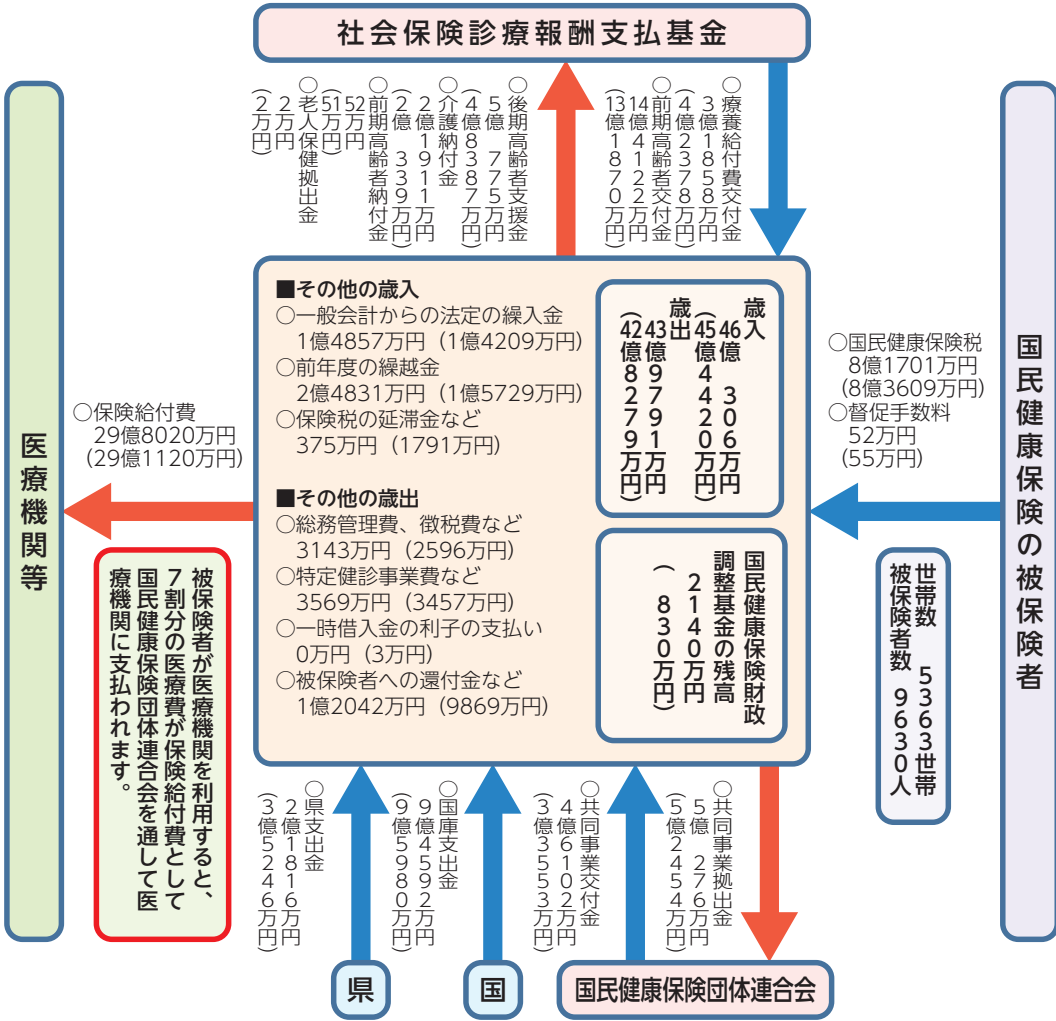
高田南土地区画整理事業地内区画道路5路線に対し、現地調査を行い慎重に審査を行いました。

認定

税の口座引落とコンビニ収納を推進

25年度国民健康保険特別会計決算

賛成16・反対2



() は24年度の決算額

- 用語解説
 - 療養給付費交付金 退職者(勤務20年以上40歳以上で10年以上の勤務)の保険給付費の財源
 - 前期高齢者交付金 65～74歳の者の保険給付費の財源
 - 後期高齢者支援金 74歳以下の者が納める後期高齢者医療への支援金
 - 介護納付金 第2号被保険者が介護保険を支援する金
 - 共同事業交付金 高額医療費に対する交付金
 - 共同事業拠出金 県内市町の高額医療費の平準化を図るための拠出金

- 賛成討論
 - 特定健診、特定保健事業の受診率で実績を上げている。(川井)
- 反対討論
 - 税が高過ぎる、払えないなどの声が聞かれる。(河野)

問 □口座引落を何%の被保険者が利用しているのか。

答 41.5%。□口座引落は低コストで確実に収納できるのでコンビニ収納と一緒に推進していきたい。

- 賛成討論
 - 低所得者への配慮が期待される。(内村)
 - 反対討論
 - 制度に問題が多い。(河野)
- 25年度後期高齢者医療特別会計決算**
- 賛成16・反対2
- 歳入 3億9423万円
歳出 3億9222万円
被保険者数 4162人

- 賛成討論
 - 制度に従い適正に執行されていた。(川井、森)
- 反対討論
 - 介護を受けられない仕組みに変貌しつつある。(河野)

25年度介護保険特別会計決算

賛成16・反対2

歳入 25億2373万円
歳出 24億1107万円
被保険者数 9030人
被認定者数 1716人

町指定ごみ袋が、取り手付き『大・中・小』の3種類に変わります

可決

●長与町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

賛成15：反対3

●容量と1枚の価格

大袋	↓	45	円
中袋	↓	30	円
小袋	↓	20	円
		8	円

☆27年4月1日から実用化

問 小袋を追加した理由は何か。

答 住民からの要望である。ごみ出しの利便性が図られ、ごみの減量化にもつながる。

問 価格はどのようにして決めたのか。

答 「大」の価格を据え置き、「大」の価格を基準にして「中」と「小」の価格を算出した。

反対討論

中袋の価格設定の根拠としてごみの減量化が挙げられたが、納得できない。
(河野)
共同処理をする時津町との価格が異なる。よく検討された価格設定なのか疑問である。
(佐藤)

賛成討論

小袋を追加したのは住民の要望であり、選択肢が増えてごみ出しに便利である。
(西田)
価格設定は問題ない。利用に応じて購入枚数が選択できるので、価格についても住民は理解できるのではないかと。
(石水)

新保育制度に関する3条例

質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大、確保と地域の子ども・子育て支援の充実を図る。

可決

賛成16 反対2 ●長与町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

反対討論

新制度の財源確保は依然として不透明で問題である。
(河野)

賛成討論

待機児童の解消、認定こども園の普及など子育て支援に役立つ。
(川井)
消費税を財源とする制度であり、安心して子どもを預けられる。
(西田)

可決

賛成16 反対2 ●長与町家庭的保育事業等の設備運営に関する基準を定める条例

反対討論

保育事業に民間企業が参入しやすく利益重視になるのではないかと。
(河野)

賛成討論

町が認可する事業所で多様な保育が受けられる。
(西田、川井、森)

全会一致可決

●長与町放課後児童健全育成事業の設備運営に関する基準を定める条例

問

現在の学童クラブの部屋は狭いが解消できるのか。

答

社会福祉法人、学校法人の参入により、学童クラブ数が増えて現在の定員が緩和される。

[新制度の多様な仕組み] 平成27年4月から子ども・子育て支援は、新制度へ移行します。

新制度						
地域型給付	主に満3歳未満の乳児・幼児が対象	小規模保育 (6~19人まで)	家庭的保育 (1~5人まで) 保育者の居宅、その他の場所で保育を行う	事業所内保育 数人~数十人程度 従業員の子どもと地域の子どもが対象	居宅訪問型 (1対1が基本) 乳児・幼児の居宅で家庭的保育者による保育	【直接契約】 (保護者と各施設)
認定こども園						
施設型給付	保育所 (現行制度を継続) (児福法24条1項) 市町村が実施	幼保連携型 学校教育・保育及び家庭における養育支援を一体的に提供する施設。	幼稚園型 認可幼稚園が認可外保育所を併設する場合。	保育所型 認可保育所が基準に満たない幼稚園の機能を併設する場合。	地方裁量型 認可を受けられないが地域に必要なので設置できる場合。 (離島や山間地)	幼稚園 (現行制度を継続)

13人が問う

西岡 克之 議員 9P

- ① 福祉政策について
- ② 教育問題について

吉岡 清彦 議員 10P

- ① 長与町における問題点をどう解決するのかについて
- ② 新図書館の建設について
- ③ 長与の文化の発展について

安部 都 議員 11P

- ① 高齢者介護政策について
- ② 教育行政について

分部 和弘 議員 12P

- ① 長与町の各種施策への取組みについて
- ② 長与町の観光施策について
- ③ 長与町の循環型社会に向けた環境の取組みについて

饗庭 敦子 議員 13P

- ① 教育行政について
- ② 地域の力について

堤 理志 議員 14P

- ① 情報インフラ整備と情報化計画について
- ② コミュニティまちづくり計画について
- ③ 平和事業について

佐藤 昇 議員 15P

- ① 高田小中学校の通学路について
- ② 図書館建設について
- ③ ローカルマニフェスト検証大会について

川井 哲雄 議員 16P

- ① 町の公園の整備・充実について
- ② 町の下水道の整備について

内村 博法 議員 17P

- ① 公共施設の総合管理計画等について
- ② 介護施策等について

金子 恵 議員 18P

- ① 町民の安全安心な暮らしについて
- ② 地域おこし協力隊について

西田 敏 議員 19P

- ① 高齢者交流施設について
- ② 新図書館建設について

安藤 克彦 議員 20P

- ① 「ゾーン30」の推進について
- ② 「ふるさと納税」制度への積極的な取組について

河野 龍二 議員 21P

- ① 危険箇所対策について
- ② 被爆体験継承活動への取組みについて
- ③ 福祉医療の拡大・充実について

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。

制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が執筆したものです。

原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町ホームページで閲覧できます。



にしおか かつゆき
西岡 克之
議員

Q ピロリ菌除菌で胃がん撲滅を

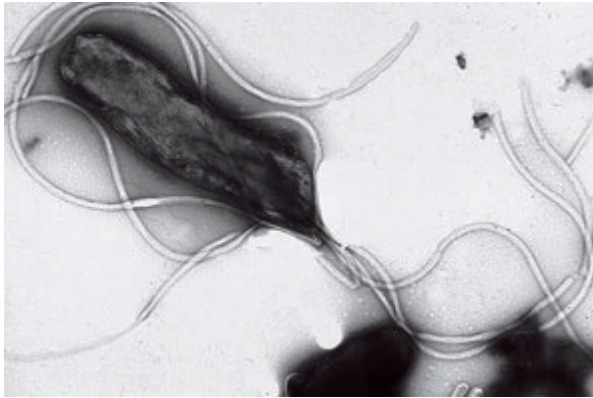
A 前向きに検討する

議員 胃がん、胃かいようは、近年研究が進みヘリコバクターピロリ菌が主な原因であるという理解が進んできた。これは除菌ができるので、除菌をすれば胃がんの確率が格段に減る。今回公明党では、ほぼ全県的に「胃がん健診へのピロリ菌検査の追加」と「検査費用の個人負担の軽減」を求めて署名運動を行い、本町でも2750人の署名が集まった。この結果を踏まえて、特定健診でのピロリ菌検査項目の追加と、検査費用の助成を求めるがどうか。

町長 国のガイドラインにはピロリ菌検査はないが、2750人の署名は重く受け止める。ほかの自治体の動きを見ながら前向きに検討する。

議員 除菌に対しての考え方はどうか。

町長 対象となる疾病の除菌に対しては医療保険で適用している。



早めの除菌で胃がんゼロを目指そう



早期の分割を

学童クラブ対策は

議員 学童クラブの過剰人員問題の今日までの進展はどうか。

町長 いくつかの学童クラブでは定員過剰だ。町では公施設や民間の空き店舗などを探したが見つからなかったので、運営を民間委託して実施する。

議員 民間運営するときには、家賃、人件費は補助対象か。

福祉課長 県補助を受け町補助と合わせて対応する。

Q 全国学力テストの結果と分析は

A 基礎基本はできている

議員 全国学力テストの結果と分析はどうか。

教育長 本町の子どもの平均正答率は、県平均、全国平均を大きく上回っていた。科目ごとの分析と対策はこれからだ。小学校では基礎基本はしっかりできている。記述問題では課題が残っている。中学校では、基礎基本は

できている。学力も十分定着しているが、図形などに若干の課題が残るようだ。

議員 本県独自で実施した英語はどうか。

教育長 町内中学校は平均を大きく上回って県下一番の成績である。

議員 高田小学校付近の通路について、取り付け道路の完成供用に伴う横断歩道の設置、体育館下の通路のガードパイプ設置、田上商店付近の点滅信号機の設置はどうか。

町長 年内供用開始とともに、横断歩道も設置する。ガードパイプは地元自治会から設置の要望も出ているので、取り付け可能な箇所は設置する。点滅信号機については同様に要望が出ている。現在時津警察署に設置要望の準備をしている。



あべ 安部 議員
みやこ 都

Q フッ化物洗口事業に十分な説明を

A 実施要綱を作り協議していく

議員 フッ化物洗口事業の取り組みについてはどうか。

教育長 長崎県が22年6月に「長崎県歯・口腔の健康づくり条例」を策定し、それに基づき「長崎県フッ化物洗口推進事業実施要綱」を定めた。29年度までに、県内すべての保育所・幼稚園・小学校でフッ化物洗口を実施するよう目標を掲げている。本町では、健康保険課を中心に、教育委員会と福祉課で協議しながら「長与町フッ化物洗口推進協議会」を立ち上げ、「実施要綱」の作成に着手している。

各学校と密接に連絡を取り、保護者の理解や同意を得て、慎重に取り組む。

議員 日本歯科医師会は、ガイドラインにて安全だと言っている一方、フッ素自体に毒性があるとも言っている。それを、子どもたちに行うのは危惧するがどうか。

教育委員会理事 フッ化物は、薬事法では劇物扱いになる。適切に水で溶かして管理していく。絶対、事故が起きないように指導していく。



毎日のブラッシングケアで虫歯菌ばいばい!

議員 教職員と保護者にアンケートを実施している。その調査で急性中毒が報告されている。安全だと立証できないので控えた方がよいのではないか。

理事 安全性に考慮されているので、管理法に基づき事故は起きないように指導していく。

男女混合名簿は

議員 男女混合名簿実施についてはどうか。

教育長 性差は、生物学的な区別であり差別ではない。男女混合名簿は、賛否両論ある。混合名簿にしなくてよいと考える。

議員 全国児童・生徒の調査で、性同一性障害の相談が606人あり、165人が診

断を受けた。そういう子どものために、差別や区別をしない学校での環境を整えておくべきではないのか。

教育長 おもいやりや優しい心の指導を行っていく。

Q 介護予防サポーターの取り組みは

A 受入施設の拡大と周知を図る

議員 介護予防サポーターの取り組みと進捗状況はどうか。

町長 本年1月から講習会を3回開催し、40人の参加が

あった。サポーターの受入施設として、4カ所から承諾をもらった。26年は、講習会を6回開催予定。受入施設の拡大を図り、サポーター活動の周知と定着を図っていく。

議員 多くの高齢者が参加するためには、もっと受入先を増やすことが先決だ。町全体で地域の中に確保する必要がある。たとえば、ワンコイン制度の取り組みはどうか。

介護保険課長 1ポイント1時間制度で、ワンコインも一つのやり方なので今後、参考にしたい。



高齢者が元気で生きがいをもてるまちを!



わけ べ かずひろ
分部 和弘
議員

Q 男女共同参画週間での考え方は

A さまざまな取り組みで理解を深める

議員 6月の環境・食育・男女共同参画の月間取り組み状況についての考え方はどのようなになっているのか。

町長 6月5日「環境の日」を中心に、6月を「環境月間」とし、環境保全活動の普及、啓発に関する各種行事などを実施する。

食育月間は「長与町食育推進計画」に基づき「食」について考え、行動し、健康で豊かな生活を目指す。

男女共同参画については、毎年6月23日から29日を男女共同参画週間として、さまざまな取り組みを通じて男女共同参画の基本法について理解を深めることを目指す。

Q 観光誘致はどうする

A パンフの県外旅行代理店への配布

議員 現在の観光施設、観光資源はどのようになっているのか。

町長 中尾城公園、潮井崎公園、体験ペーロンがあり、25年度の利用者数は合計



長与町へようこそ

6万1018人である。また、ウォーキングコースも整備されている。

議員 観光客誘致についてはどうか。

町長 観光ガイドブック、体験ペーロンパンフレットの町内外旅行代理店への配布や各施設ごとのパンフの整備、ホームページによる啓発活動を行っている。また、3月には、「長与シーサイドマルシェ」を開催し7000人の来場で賑わった。

Q 可燃ごみはどう変わる

A その他のプラスチックが可燃ごみ

議員 今後の可燃ごみに対する考え方は、どのようなになるのか。

町長 ゴミ焼却施設が27年4月に稼働することから、長与・時津両町のその他のプラスチックの分別収集方法を、可燃ごみとして、分別収集を行うことで準備を進めている。

議員 町民への周知はどのように行うのか。

生活福祉部理事 一斉ポスティングおよび町広報紙、ホームページにて周知を行う。

議員 環境サンプリングについては、どのように計画しているのか。

町長 環境モニターについては、環境情報表示板の名称で誰でも、いつでも確認できるように焼却施設の出入口付近に設置する。表示板には「窒素酸化物」「硫黄酸化物」「一酸化炭素」「塩化水素」「ばいじん」「ダイオキシン類」に

関する排ガス測定値がリアルタイムで表示される。また、国の環境基準値および施設独自の自主基準値が比較できる。運転中の排ガス測定値の情報や第三者機関による周辺環境モニタリングの情報などを、組合ホームページにより定期的に公開する計画となっている。



工事が進む熱回収施設



つみ 志志
さとし
議員

Q 情報インフラ整備は財政に配慮を

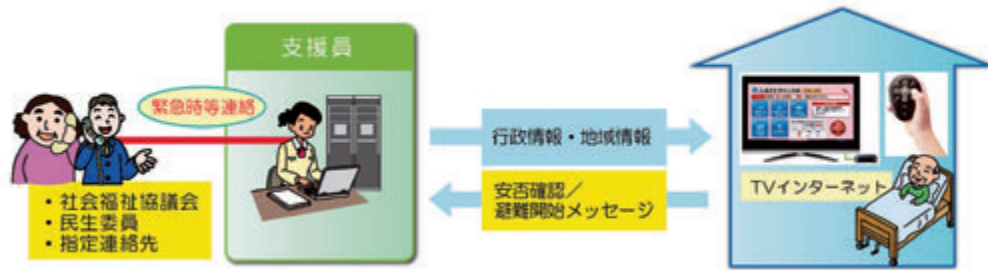
A 研究したい

議員 町長の公約であった「情報インフラ整備」を進めるため「地域支え合いICTモデル事業」を百合野地区で実施し、コミュニティFMラジオも計画している。現在どのような状態か。

町長 ICTモデル事業は6月から本格稼働し百合野地区の96世帯、うち見守り対象が37世帯で運用している。このモデル事業は27年度までで、それまでの間に利用者の評価、費用対効果を見極め全町的な導入の可能性を調査したい。コミュニティFMは行政が放送局を運営することができないため、株式会社など、民間による運営が必要になる。スタジオ、法人設立、スポンサーの確保などさまざまなハードルがあるので、実現の可能性を研究している。

議員 ICTモデル事業は、住民の相談などを普及員1人で対応しているが、職務が過重になっていないか。

企画課長 過重になっている面がある。対策はモデル事業終了後に検討したい。



地域支え合いICTモデル事業の見守りイメージ(町情報化計画書より)

議員 町の計画では買い物支援システムも視野に入れるとしているが進んでいるのか。

課長 現状では具体化できていない。

議員 議会総務委員会で、情報インフラに関して鯖江市へ視察に行った。ここでは少ない財政負担で情報インフラを整備していた。このような方策を検討してはどうか。

企画振興部長 研究してみた。

Q どうする「コミュニティのサポート」

A 意見を聴き協力連携

議員 コミュニティのまちづくり計画書が策定され、これに基づき推進していくものと理解している。コミュニティの意義は理解するが、町民との対話の中では「多忙で負担に感じる」「予算消化型の運営に矛盾を感じる」「消極的な意見が出しにくい」「住民の趣向は多様化しており趣味などを通じて自然な形でコミュニティ活動をしている」な

どの意見がある。住民が主役のまちづくりに資する点は伸ばし、改善すべき点は改善するスタンスが必要ではないか。

町長 住民の意見は真摯に受けとめる。今後もコミュニティと協力、連携し支援をしていきたい。

Q 被爆70年にふさわしい平和事業を

A 平和事業を精査し継続

議員 来年は原爆投下、終戦から70年という節目の年になる。「平和で安全な郷土を子孫に引き継ぐ」とした町の平和宣言を実効あるものとしていくためにも、より多くの町民が参加でき、平和の尊さを考えてもらえる平和事業を検討できないか。

町長 平和の大切さを継承することは私たちの責務。平和事業を精査し充実、継続したい。



のほろ昇
さとう 藤 議員

Q 高田小・中通学路の安全対策は

A できるだけガードパイプで対応



ガードパイプが設置されます

議員 高田小学校前のループ橋は、来年春には完成する。

百合野方面から百合野橋へ抜けていた車両が、分散してループ橋へ侵入することになる。

高田小・中の児童・生徒の通学時の安全対策が大切だと考えるがどう対応するのか。

町長 カラー舗装、ガードパイプ設置で対応する。

議員 体育館の下付近は特に危険である。ガードパイプの設置が必要ではないか。

管理課長 ガードパイプを設置する。設置できない所はカラー舗装で対応する。

議員 歩道の幅員はどれくらいなのか。

課長 車椅子の通行も考えて1mで予定している。

議員 ループ橋を含めた付近の事業費を示せ。

都市整備課長 約4億6000万円である。町の持ち出しは約2億9000万円である。

Q 今後の予定を示せ
新図書館建設

A 3月に基本構想を
答申予定である

議員 図書館建設に向けて庁舎内でプロジェクトチームが設置されたと聞いたが、どのような組織であるのか。また、進捗状況と今後の予定はどうか。

町長 メンバーは関係部課長10人で組織し、建設整備に関わる全般的な方針、予算および工期、庁舎内および関係機関・団体との調整などを行い、基本構想の策定に携わる。現在、構想の基本概念ができたところである。

議員 10月に委員会を設置するとのことであったが、プロジェクトチームとの関係はどうなるのか。

政策推進課長 新図書館基本構想策定委員会を設置し来年3月答申へ向けて検討する。

プロジェクトチームで原案を作成し、委員会で検討する。

議員 建設費用の財源はどう考えているのか。

課長 いろいろなシミュレーションを立てていて、一定の方向性は出ている。

議員 運営方式は直営なのか。

町長 検討委員会で十分協議して決定したい。

Q マニフェスト検証
大会の感想は

A ほかの方法が効果
的と思う

議員 ローカーマンifestト検証大会を終えて、率直にどう思ったのか。

町長 ビジョンの進捗状況をどれくらい町民に知らせることができたのか、少し疑問が残る。開催にあたって賛否両論あった。終了後に町民から厳しい意見も聞いた。

結論として、行政進捗状況を報告したり、町民から意見を聞くのは、町民提案箱やつとミーティング、あるいは議会での報告、町の広報紙やホームページでの報告などで十分に果たしていけると思う。



かわい てつ お
川井 哲雄
議員

Q 天満宮公園のトイレを多目的に

A 今後検討する

議員 全国的に多発している自然災害などを考えると、避難場所としての防災機能を持つ重要な場所と考えるが、公園の防災機能についてどのように考えているのか。

都市整備課長 防災上の位置付けとしての回答になるが、災害時に公園を利用するのは良いが、防災計画においては公園は指定していない。

議員 公園の管理状況はどのようになっているのか。

町長 各公園の草刈りや剪定、トイレの清掃は年間を通じて行っており、遊具等の公園施設の点検については年2回10月と2月に実施している。

議員 公園全てにトイレは設置されているのか。

都市整備課長 92カ所のうち60カ所に設置している。

議員 老朽化が進むトイレや使い勝手の悪いトイレが公園には散見されるが対応はどうしているのか。

町長 老朽化による破損等については、修繕で対応している。使い勝手の悪いトイレについては、下水道接続が困

難なトイレでは、今後存続も含めて、地元自治会と協議を重ねていく。

議員 天満宮公園（アスレチック公園）にもトイレがあるが、老朽化が目立ち、男女の仕切もなく利用しにくく非常に不便である。また、和式のため高齢者や障がい者も利用しにくい状況であるので、誰でもが利用できる多目的トイレに改修できないか。

都市整備課長 改修と言ってもトイレにはかなりの予算が掛かるので、早急にはできないが年次計画などにおいて検討していく。



公園は誰もが訪れる公共の空間

議員 町長の考えはどうか。

町長 今後検討していく。

Q 大丈夫か今後の下水道処理

A 長寿命化対策を計画している

議員 現在の施設は、総合計画で示している、目標人口5万1000人、目標世帯数1万9000世帯について、下水の処理能力は対応可能なのか。

下水道課長 目標値には達していない。現時点では過大投資の形になり費用対効果が薄

れる。現在の人口規模にあった処理施設で計画している。

議員 浄化センターなど、処理施設の老朽化についてはどのような対応を行うのか。

課長 「下水道長寿命化支援制度」で計画を策定している。

議員 下水道管の老朽化対策はどのようになっているのか。

課長 下水道管については耐用年数が50年とされているが目視やテレビカメラで変形、歪みの調査を行っている。

高度処理の計画

議員 下水の高度処理はどのような計画で推進するのか。

町長 流総計画に基づき、大村湾沿岸周辺の関係市町の動向・調整を図りながら、下水の高度処理の取り組みなどの研究を行っていく。

★高度処理とは
通常の下水処理よりも、水の汚れの原因となる有機物や富栄養化の原因となる窒素やリン等を取り除く処理。

★流総計画とは
大村湾流域別下水道整備総合計画



うちむら ひろのり
内村 博法
議員

Q 新図書館建設は現在地を活用せよ

A 熟慮の結果 榎の鼻の土地に決定

議員 町長は、新図書館建設地を榎の鼻土地と表明したが、6月議会で「価格はこれから交渉する。財源の見通しは立っていない」と答弁した。

この表明は、具体的根拠を欠くものであり、とうてい住民の理解は得られない。

1月の議会報告会でも「子どもや高齢者などの利用を考えると、高い所に建てるのは疑問だ」との意見があった。

この際、榎の鼻土地への建設は撤回し、現在地に図書館と公民館を合築し、町有地の有効活用を図るべきと思うがどうか。

町長 若干標高が高い土地ではあるが、建設を決意した理由は①町内全域からのアクセスなどの利便性の確保②本町の人口規模と今の時代にふさわしい図書館機能を想定した必要な用地③新図書館を町の新しいランドマークとし、中心市街地の活性化を図ることであり、熟慮の結果決定した。

議員 図書館と長与町公民館を合築した場合、建築基準

法上の可能な延べ床面積、駐車台数はどうなるのか。

都市整備課長 全体の土地面積は3250㎡であり、これを基に建ぺい率60%、容積率は200%で試算すると、概略であるが延べ床面積は3900㎡、駐車台数は約55台となる。

組合との約束内容

議員 榎の鼻土地購入については、6月議会で「この公益用地の約1万㎡購入については、区画整理組合側からの

申し入れもあり、23年8月29日付文書で購入すると回答している」と答弁しているが、その内容を示せ。

町長 組合側の申し入れの概略内容は、土地の面積は1万947㎡、金額は5億6400万円、支払い方法は26年度に2億円、27年度に2億円、28年度に1億6400万円となっている。

回答書には、土地面積1万665㎡、金額5億4700万円、支払期間は26年度から28年度までとしている。た



新図書館建設は、長与町公民館と現図書館を合築し、現在地を有効活用せよ

だし、各項目における金額や面積、期間などについては、今後継続して協議する旨を付記している。

現在までに具体的な契約に向けた進展はない。今後買収する場合には、議会に必要な議決などを求めながら対応することになる。

Q どうする家族介護者の支援策は

A 介護者リフレッシュの集い等実施

議員 介護を行う家族介護者の負担を軽減するため、どのような支援策を考えているのか。

町長 現在、家族介護者に対し、介護者リフレッシュの集いや在宅介護者見舞金の支給などを実施している。



かねこめぐみ
金子 恵
議員

Q 大丈夫か 日々の安心安全

A 保守点検による安全確認に取り組む

議員 日々の暮らしの中の
安全安心の観点から街路灯の
設置、管理など現状と今後の
計画はどうか。

町長 経年劣化等による照
度の低下など発生時には、電
球の取り換えとともに保守点
検による安全確認を行って
いる。

議員 防犯灯はどうか。

町長 25年度末で3551
基設置しており、自治会から
の要望などによりLED電球
用防犯灯を新設し、球切れ時
に器具不良の場合は、LED
電球用防犯灯に切り替えて
いる。

議員 大きく育った街路樹
は大きく根を張り、歩道を持
ち上げている。対応はどうか。

管理課長 長与小学校裏の歩
道に関しては補修を行った。
支障がある場所があれば、連
絡により検討していく。

通学路の安全安心

議員 道路にはみ出した民
家の生け垣は、小・中学生の
通学、下校に傘などが引っ掛
かり危険を及ぼしているとい

う。このような場合の対処は
どのようにしているのか。

課長 住民に事情を話し、
要請はしている。しかし、強
制はできない。

議員 台風接近に伴う避難
所が開設されたが、現状と問
題点は何か。

町長 大雨・台風接近によ
る警報の発表は年々増加して
いる。警戒本部を立ち上げた
際には、初動態勢や、自主的
な避難のための開設について
検討し、それぞれのケースに
応じて判断している。今後、
避難勧告・避難指示を発令す
る必要がある事態を想定する
と、一時的避難所・一定期間
に渡る継続的な避難生活を余



日が暮れると
明かりが足りない南田川内線



地域おこし協力隊で地域再生を！

儀なくされる場合の避難所の
役割分担、動員態勢など、引
き続き検討していく。

Q 地域おこし協力隊 で地域活性化を

A 他の事例等につい て研究する

議員 地域をめぐる問題が

多様化する中、都会の若者を
地域の活性化に生かし、定住
してもらおう「地域おこし協力
隊」を318自治体が受け入
れ、成果が出ている。本町で
も担い手不足、リーダー育成
が必要であるが、どのような
分野で課題を感じているのか。
町長 自治会・コミュニテ
ィ活動における担い手、商店

街の核となるリーダーの育成
が課題である。各コミュニテ
ィにおいて「まちづくり計画
書」を策定し、多くの住民が
行事へ参加することで後継者
の育成を図ろうとしている。

議員 「地域おこし協力隊」
の受け入れは考えられないか。

町長 隊員にアンケートを
したところ、48%が活動した
地区に定住したとの結果が出
ている。しかし、地域の受入
態勢が整っていないなど、デ
メリットもある。今後、国が
地方活性化に向け、さらに隊
員を増やす方針と聞してい
る。全国および県内の事例な
どについて研究していく。



にしだ さとし
西田 敏
議員

Q 高齢者が自由に使える施設を

A 高齢者の居場所づくりを研究する

議員 長与町も65歳以上の高齢者が9千人を超す状況になった。

これからは高齢者が自らの健康を維持し、地域社会での健康づくり介護予防にどう関わっていくかは、行政にとっても大きな課題ではないか。

他自治体で「高齢者健康ふれあいスポーツセンター」施設を運営している所はないか。

町長 全国の自治体でも設置しているところがあるが、規模が大きく、その主体は県レベルの設置で指定管理者による運営となっているようだ。

議員 町は、老人福祉計画・介護保険事業計画により、老人クラブへの補助金をはじめ、介護予防など、さまざまな取り組みを行って効果をあげている。老人クラブ連合会から、高齢者が誰でも、気楽に、いつでも行け、気の合った人たちと歓談できたり、たまには飲食もできるような「高齢者の交流施設」を作ってもらえないかとの要望がある。既存の老人クラブなどに加入していない人たちの救済

にもつながると思うがどうか。

町長 今回の第6期介護保険事業計画策定に係る国の方針において、介護予防の観点から、機能回復訓練など高齢者本人の心身機能の改善だけでなく、生活環境の調整や地域の中に生きがいや役割をもつて生活できるような居場所と出番づくりなど、本人を取り巻く環境づくりも重要であると示されている。

現在、町内にはふれあいサロンが18カ所あり、高齢者のさまざまな交流や情報交換などが行われている。現在、社会福祉協議会においてカフェの実施に向けて検討している。



活躍する高齢者のみなさん

今後、「ふれあいサロン」の充実や「コミュニティカフェ」の設置など、高齢者の増加と介護予防に対応するため、高齢者の居場所づくりや気軽に集える場所について研究していく。

Q 新図書館建設に町長の想いは

A 検討委員会の計画書を最大限尊重

議員 図書館整備検討委員会が作成した「長与町立図書館整備基本計画書」をホームページで読んだ。町長の率直な感想はどうか。

町長 計画書は、約2年間にわたる委員の想いが込められており、大変な苦労があったと思っている。町のさまざまな事情を考慮し現実的な考案のもとにつくられている。

基本構想の策定に当たっては、すべてを満足させることはできないかもしれないが、最大限尊重し実現に向け努力する。

議員 相当な建設費と維持費が予想されるが、覚悟はあるのか。

町長 国庫補助の活用と、効率的な運営を前提として計画していく。



住民の声を活かした長野県小布施町図書館



あんどろ かつひこ
安藤 克彦
議員

Q ゾーン30推進に対する町の見解は

A 警察と連携し実施していきたい

議員 ゾーン30整備に対する補助金はどのようなになっているのか。

町長 55%の「安全な通学路の確保補助金」がある。

議員 推進・整備への問題は何か。

町長 地域住民の同意と理解が必要だが、このことは歩行者の安全・安心を考えると特に問題はない。

議員 警察から本町にも候補地の話があったようだが場所はどこか。

管理課長 長与小学校を含めた定林・駅前線一帯の区域である。

議員 この場所が、警察での候補に挙がりながら今年度実施されなかったのはなぜか。

課長 県の予算措置の問題だと思う。

議員 他に整備が必要と考える場所はあるか。

課長 他の場所は考えていない。

議員 農協の横から入る川沿いの道（町道榎の鼻・池原



ゾーン30で通学路の安全確保を（時津東小付近）

線）があるが、この周辺でのゾーン30設定は考えられないのか。

課長 そこは制限速度30kmの道路だ。区画道路が中に入っている、それを含めた上で警察との協議が必要である。

議員 ここは30km道路だが朝夕はそれを守る車は少ないように感じる。通学道路であり、一方通行ではないため車の離合もある。カーブも多い。このような場所こそ心理的抑制を働かせるためゾーン

30の設定が必要とを感じる。この道路には路側帯すらもないがなぜなのか。

課長 確認していないので分からない。そのような対応を取りたい。

Q ふるさと納税への積極的な取組を

A 過剰な品の提供はしない

議員 町長はふるさと納税を増やしたいのか。

町長 最近の過剰なお礼には違和感を持っている。

議員 25年度、本町が受けたふるさと納税は3件、14万円だった。本町から他自治体に納税された分はどれだけか。

税務課長 18件、99万円程である。

議員 今年から本町でもお礼の品を始めたが、現在まで受けた実績はいくらか。

課長 1件、2万円である。

議員 全国の自治体は自主財源確保に向けて努力し、納税額を増やしている。なぜ本町に対するふるさと納税は増えないと考えているか。

課長 ホームページでのみのPRなので、PRが少ないのではないかと感じている。

議員 お礼の品を贈る納税金額を下げたり、特産品の種類を増やしたりして税収増を図る考えはないか。

副町長 本町で魅力ある品を準備するのは厳しいと思う。



ふるさと納税に力をいれている平戸市

※ふるさと納税
任意の地方自治体に寄附（納税）すること、寄附した額から2千円を引いた額が翌年に税額控除される。また、寄附された自治体が寄附者に対しお礼の品として特産品等をおくる自治体が増えている。長与町でも26年度から2万円以上の寄附者に対しお礼の品を贈るようになっている。



かわの たつじ
河野 龍二
議員

Q 危険箇所の整備計画は

A 県の調査結果を踏まえ計画する

議員 本町の土砂崩壊の危険がある土石流危険渓流90。

地すべり等危険箇所4。急傾斜地崩壊危険箇所192。

山地災害危険地55など存在する。危険箇所の確認や更新はどのように行われているか。

町長 長崎県で確認作業がされている。その後の更新はない。

議員 これまでに整備された危険箇所はどれくらいか。

町長 土石流危険渓流箇所4。急傾斜地崩壊危険箇所29カ所整備してきた。

議員 今後の危険箇所の整備計画はどうか。

町長 26年度から28年度の3カ年で、町内500カ所を調査し、結果を踏まえ整備計画をつくる。

議員 急傾斜地崩壊危険箇所の整備には、対象住民の負担もある。負担の軽減ができないか。

都市整備課長 受益者負担は必要と考える。軽減は考えていない。

議員 危険箇所の整備は、長崎県の指定となる。町独自



応急処置をした崖くずれ跡

の指定で、整備できる制度がないか。

建設部長 長崎県の指定により、国庫補助や県費補助の負担があるので、町単独の事業は考えていない。

議員 広島の土砂災害では、避難勧告の遅れが指摘されている。本町では避難指示の基準はあるのか。

総務課長 防災計画には追加していないが、今年度明確な避難基準を示した。基準内容を早いうちに公開していきたい。

議員 防災マップは17年から変更がされていない。どうなっているのか。

課長 長崎県のハザードマップ作成にあわせ、本町の防災マップも新しく準備をしている。

Q 被爆体験の語り部をつくれ

A 長崎市の状況をみて検討したい

議員 来年は被爆70周年を迎え、被爆者の年齢も高齢化し、被爆体験の継承が難しく

なっている。

被爆体験伝承活動の取り組みが必要ではないか。

町長 語り部の養成については、長崎市などを研究し考えていきたい。

Q 福祉医療を中学校卒業まで拡大を

A 障害者の現物給付化を優先したい

議員 子どもの福祉医療の拡大は、若い子育て世帯の強い要望がある。長与町でも福祉医療の対象を、中学校卒業まで拡大できないか。

町長 対象年齢の拡大より先に、障害者医療費の現物給付化を行いたい。

議員 福祉医療の拡大は、県内では、松浦市、南島原市、雲仙市や島原市でも拡大されている。子育て世代が多い本町こそ、最優先で取り組む課題ではないか。

町長 現状では、現物給付を実現させたい。

人事案件

任期満了に伴い、提案があった教育委員の任命案について審議を行い、全会一致で同意しました。

委員のご活躍を期待します。

古賀 清彦さん(岡郷)

救急法を学ぶ

議会では、24年12月に「長与町議会災害対応要領」を定めています。2回目の訓練は、7月11日に長崎市北消防署浜田出張所の指導で、全議員が参加して実施しました。

救急車が到着するまでに適切な心肺蘇生措置、AEDの使用が救命につながることを学びました。特に心肺蘇生では多くの議員が交代で体験しました。

資料および実体験による訓練は、大変有意義でありました。



賑わいのまちづくりに関する調査・研究結果を議長に報告

町議会では、賑わいのまちづくりについて特別委員会を設置して調査研究を進めてきました。

その結果、去る

9月8日に岩永特別委員長から、山口議長に対して調査研究の結果が報告されました。



広島土砂災害の復興を応援

広島市北部では、8月19日夜からの記録的豪雨により、20日に土石流災害が発生し、人命や家屋などに甚大な被害が発生しました。亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被災者の皆さまにお見舞いを申し上げます。

議員からの、義援金10万円を長与町社会福祉協議会を通じてお届けしました。被災地の早期復興と平穏な暮らしをお祈り申し上げます。

26年9月定例会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	櫻庭敦子	安部 都	内村博法	分部和弘	安藤克彦	金子 恵	川井哲雄	森 謙二	西岡克之	岩永政則	喜々津英世	佐藤 昇	山口憲一郎	堤 理志	西田 敏	河野龍二	吉岡清彦	竹中 悟	山口経正	
執行機関	長与町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	町道自由ヶ丘団地線道路築造工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成26年度長与町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成26年度長与町駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成26年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成26年度長与町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成26年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成25年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成25年度長与町駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成25年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成25年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
平成25年度長与町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
平成25年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
平成25年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
平成25年度長与町下水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
長与町教育委員会委員の任命の同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
本会議場での国旗及び地方自治体旗の掲揚に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
手話言語法制定を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	

〔○賛成 ▼反対 ■棄権 -欠席〕 *議長は採決に加わらないため「※」で表示

採択

賛成15 反対3

本会議場での国旗及び自治体旗の掲揚に関する請願

【請願の要旨】

国旗国歌法が制定され、議場に国旗、自治体旗を掲揚することが普及しつつあるが、貴議会は未だ掲揚されていない。議場正面に掲げられた国旗、町旗に対して敬意を表することは、議員や職員が国を愛し、国民としての一体感を持ち、住民から課せられた責任を自覚されていることを示すのに最もふさわしい。

●本会議場正面に日本国旗及び町旗を掲揚すること。

全会一致採択

手話言語法の制定を求める意見書の提出を求める請願

【請願の要旨】

手話が音声言語と対等であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話を学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することができる環境整備を目的とした「手話言語法」を制定すること。

全会一致採択

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請について

【請願の要旨】

義務教育費の国庫負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられた結果、自治体財政を圧迫し非正規職員も増えている。子どもの学ぶ意欲・主体的なとりくみを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備は不可欠である。

●教育予算の増額。

●義務教育費国庫負担制度の堅持と国負担割合の2分の1復元。

全会一致採択

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等に関する請願

【請願の要旨】

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、対象となる医療が限定されているため、医療費助成の対象から外されている患者が相当数にのぼる。高額の医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。

●ウイルス性肝硬変、肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。

●身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

手話言語法の制定を求める請願、教職員の定数改善と義務教育費国庫負担復元、ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成拡充の各請願採択を受け、議会として同趣旨の意見書を可決しました。これら意見書は、政府・国会など関係機関へ送付します。

もっと身近な議会へ



議会では、議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を目指して活動しています。町民の皆さまに、直接、議会活動をお知らせし、同時に議会運営や町政にかかる意見交換などを目的として、議会報告会を開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日	会場	備考
10月29日(水) 19:30 ~ 21:00	長与町公民館	手話通訳あり
	長与町ふれあいセンター	託児あり【要予約】 ※H26.10.21(火)まで

【開催内容】

①議会活動報告

(9月議会及び26年度事業の主な議決事項、主な公共事業等、議会改革の取組状況)

②議会や町政に対する意見交換会(ご意見等は今後の議会活動に役立てます。)

◆問合せ・託児申込 議会事務局 TEL801-5700



文教厚生常任委員会行政調査報告

国保財政および図書館建設などを調査

委員長 河野 龍一

○調査期日

7月2日から4日

○調査場所

- ・群馬県太田市
- ・埼玉県飯能市
- ・長野県小布施町

○調査目的

- ・国民健康保険財政状況
- ・図書館建設と管理運営

○調査内容

【国民健康保険財政状況】(太田市)

- ・国保税の引き下げ

平等割を引き下げて、資産割を廃止。収納率が上がることを期待したが効果がなかった。よって現在、税の引き上げを検討中。また、収納率を上げるために口座引落しによる徴収を推進予定。

- ・保険事業

特定健診の受診率を上げるために、25年度から無料化を実施。

【図書館建設と管理運営】(飯能市)

- ・建設費

建設設計業務委託料	3990万円
土地購入費	7億6793万円
建物工事費	11億4467万円
財源	
合併特例債	12億4100万円

社会資本整備総合交付金

一般財源	3億9717万円
基金	1億6055万円
住民の参加	1億5378万円

16年に「図書館を考える会」が新図書館のニーズを調査。73%の住民が必要性に賛同。以降さまざまな委員会や審議会の検討を経て、先行取得されていた工場跡地に25年に建設。

【図書館建設と管理運営】(小布施町)

- ・館の設計者の選定

プロポーザルとコンペの融合方式を採用。さまざまなアイデアを全国から公募し、2次審査と公開プレゼンテーションを経て決定。

建設費	4億円
財源	
基金	3億2000万円
補助金	8000万円

○調査を終えて

国保財政は、財政力の豊かな自治体でも厳しい現状である。単発的な保険税の引き下げは、将来引き上げに転じる可能性がある。

2自治体の図書館は、住民参加で建てられた素晴らしいものであった。本町の課題は、建設のための財源を確保することである。

定数16人体制の委員会運営を研究

委員長 金子 恵

○研修期日

7月23日から25日

○研修場所

・神奈川県葉山市 ・埼玉県和光市
・東京都町田市

○研修目的

・委員会の運営
・議会改革の取り組み

○研修内容

葉山市
本会議初日に議案の提案説明を行い、予算・決算特別委員会での審議に入る。一般質問は本会議終盤に行うため、委員会での審議内容を盛り込んだ質問ができるというメリットがある。

○和光市

定数削減により、常任委員会を3から2委員会にした。予算は常任委員会へ分割付託することにより決算審査を効率的にできる。また、範囲が絞られるため詳細な審査ができ、審査日数も削減できる。

○町田市

予算は、各常任委員会に分割付託。決算は一般会計・特別会計は特別委員会、企業会計は所管の常任委員会に付託する。決算に関しては、今後、常任委員会への分割付託をすることに

より、これまで以上の審査ができるのではと検討中である。

○研修を終えて

改選後、定数16人に向け、本町は2常任委員会の設置、各委員会です算・決算の審査を行うということを決めた。メリットとして、各委員会へ付託することで、より詳細な審査が行えることが挙げられる。また、上程日を初日に持つてくることで、一般質問、委員会審査で積極的な質疑・提案ができるのではないかとということと、現在、検討中である。改革への取り組みは各議会とも、できることを継続し、その歩みを止めないという姿勢は今後、肝に銘じ、自分たちに合った改革を進めていきたい。



議会だよりの編集の調査

委員長 饗庭 敦子

○研修期日

8月20日から22日

○研修場所

・群馬県吉岡町
・長野県東御市

○研修目的

・議会だよりの編集

○研修内容

吉岡町
「読みやすく、わかりやすい、親しまれる」を発行の方針とし、年4回発行している。

・広く町民から意見や要望を聴取して内容を充実させ読みやすい議会だよりにするため24年11月より「議会だよりモニター」16人を選任し委嘱している。
・表紙は住民が手にしたとき、強い関心を持つように心掛けている。掲載写真は人物がはいった動きのあるものにしていく。

・一般質問は質問者が担当し、記事は30分30行、40分45行、60分60行としている。

○東御市

・議会審議の内容や市民の知りたいことを、わかりやすく正確に、「住民に読んでもらえる議会だより」

を発行の方針とし、年4回発行している。

・表紙は元気な子ども様子が表現されていて、時節にあったものになっている。

・議会Q&A、市民参加の企画など新しい企画に挑戦している。

○研修を終えて

吉岡町、東御市とも全国議会広報コンクールで受賞されており、読みやすく手に取りたいと思う議会だよりである。

住民参加型企画「私のひとこと」「おらほ（私たち）の取り組み」「まちの散歩道」、議会だよりモニター制、クイズなど参考にして長与町でも今後取り入れていきたいと思う。



傍聴席から

今回初めて議会を傍聴させていただきました。よりよい長与町をつくるために、いろいろな分野の一般質問を議員の方たちがされていて、このように町づくりがなされているのだと生で感じる事ができ、とてもよい経験になりました。今日の議会で明らかになった部分、そうでない部分があると思うので、そうでない部分に関しては、検討していただき、是非、町民の皆様が納得されるかたちで明らかにしていただきたいです。今日傍聴させていただいたことで、私にとっても、自分が住む地域について考えるよい機会となりました。ありがとうございました。(20代 女性)

図書館の建設について、もう決まってしまうと、あきらめている方々がたくさんいます。町文化ホール建設の折もそうでした。建ってしまったからは、どうにもなりません。町民の図書館利用者の曜日・時間帯・駐車場への要望などアンケートなど行って町民一人ひとりが利用しやすい場所に建設すべきであります。駐車場が400台も必要とは決して思いません。これからも、積極的に傍聴するようにしたいと思います。(60代 女性)

- ・町役場幹部が全員、全時間出席は必要なのか? 答弁に関係ない幹部は出席を必要に応じて行い、町役場の業務に専念すべきでは。民間企業の考え方は無理と思うが、人と時間の無駄の感がある。
 - ・議員質問が緩く迫りに欠けることが感じられる。
 - ・放送局のカメラを入れよ。緊張感が議場全体に欠落している。
- (70代 男性)



皆さまの声は抜粋、要約させていただきました。たくさんのご意見ありがとうございました。

次の定例会は12月上旬の予定です 傍聴をお待ちしています

9月議会の傍聴者は
延べ **154人** でした

議長交際費	26年6月20日から9月30日までの 総額と件数
寸志・慶祝など	45,000円 (7件)
弔慰	31,320円 (2件) (生花スタンド・香典など)
激励カンパ	30,000円 (3件)
視察研修土産代	43,890円 (5件)
支出合計	150,210円 (17件)

議会情報を発信中! コメントをお待ちしております。

いいね! をよろしくお願ひします

facebook

現在 **347名** (9月末)

<http://www.facebook.com/nagayochogikai>

QRコード

編集後記

委員会では、8月に群馬県吉岡町議会、長野県東御市議会を視察しました。また、熊本県益城町議会の視察を受けました。それぞれの議会広報委員の皆さんとの意見交換を通して、学ぶものが多くありました。

「いかに読んでもらうか」とも「いかに見てもらうか」の視点で、「見出しやレイアウトの工夫が大事」ということもその一つです。成果をご期待ください。今後とも議会だより、ホームページやフェイスブック、議会報告会の開催などで、議会情報の発信に努めます。

(喜々津 英世)

議会広報調査 特別委員会

委員長	委員
饗庭 敦子	金子 恵
副委員長	委員
堤 理志	川井 哲
委員	委員
喜々津 英世	森謙二



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。